

『こじらせ美術館』 <2022年6月「雨」>

ナカムラ クニオ//著 (ホーム社 2021.05)

場所：一般【723 /ナカ】

雨の日は美術館で絵画の鑑賞などいかがでしょうか。この本では世界的に有名な絵画の巨匠たちの“こじらせ”エピソードや作品の秘密を紹介しています。著者による代表作やキーアイテムのイラスト、関連図で視覚的にわかりやすく、絵画に詳しくない人でも気軽に読み進められます。読めば美術鑑賞がもっと面白くなるかも…？

『よるのえ』 <2022年12月「秋」>

キューライス//著 (大和書房 2022.03)

場所：一般【726.5 /キコ】

これは、いったいなんだろう？かわいい絵柄の、シユールな光景。
なぜか心にひっかかる、奇妙な短文。
キューライスのイラスト集で、異世界を垣間見るような不思議なひと時を味わってみませんか。秋の夜長が倍の長さ、あるいは、まばたきみたいに一瞬に感じられるかもしれませんね。

『鉄道小説』 <2023年2月「冬」>

乗代 雄介//〔ほか〕著 (交通新聞社 2022.10)

場所：一般【913.6 /ノリ】

2022年に鉄道開業150年を迎えました。それを記念して、5人の作家が「人と鉄道の記憶」をテーマに物語をつくりました。
飼犬の散歩を欠かさない青年がふとしたきっかけで昔の思い出をたどるお話。新宿湘南ラインの電車に乗って亡き祖父の家に向かう予定だったが、気づけば反対方向の電車に乗ってしまった女性の話など、この寒い冬にぴったりの心温まる1冊です。

《発行》

関市立図書館 指定管理者 学校法人岐阜済美学院

TEL: 0575-24-2529/FAX: 0575-23-7780

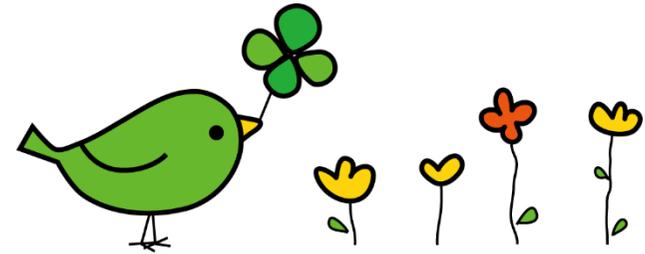
E-mail: lib@city.seki.gifu.jp

司書のおすすめ 《2022年版：大人の本》

SEKI CITY LIBRARY

BOOK REVIEW

※2022年4月～2023年3月の図書館だよりで紹介した本



『絵本で学ぶSDGs』 <2023年3月「環境」>

絵本でSDGs推進協会//編 (平凡社 2022.09)

場所：一般【019.5 /エホ】

SDGsって、聞いたことがあるけどなんだか難しそう...そんな貴方へ。SDGsがもっと身近に感じられる絵本をSDGsが目指す17の目標ごとに絵本専門士が厳選！私たちの未来をよくするために、私たちにできることは何か、絵本を通して考えてみませんか？

『深掘り！日本の地名』 <2023年1月「歴史」>

宇田川 勝司//著 (ベレ出版 2022.02) 場所：一般【291.0 /ウダ】

地名には地形の特徴(琵琶湖)や天候(大雪山)など自然を由来としている「自然地名」だけでなく、歴史や文化などを由来としている「文化地名」があるそうです。
岐阜県各務原(かかみがはら)市は古代に鏡作部(かがみつくり部)がいたことに由来しているとのこと。<※鏡作部・・・銅鏡などの鏡を作る職人集団>
地名の由来を調べると今とは違うその土地の地形や天候、文化の歴史を知ることができます。地元や旅行先などの地名の由来を調べてみるのも楽しいかもしれませんね。

『日本の路地』 <2022年9月「旅」>

パイインターナショナル//編著(パイインターナショナル 2021.09)

場所：一般【291.0 /パイ】

旅先で、ふと目に入った路地は・・・藤や桜、紫陽花など季節の花が咲き誇る石畳。軒先の提灯や足元の灯籠の明かりに照らされた、どこまでも続きそうな昔ながらの民家の連なり。

たくさんのお店が並んだ大通りも楽しいけれど、路地を覗いて見るとまた違った風景があり、旅がさらに楽しくなります。いつもの通り道の路地を覗いてみても新しい発見があるかも♪でも外はまだまだ暑いから、まずはお家の中で路地探索を楽しんでみるのはいかが？

『「感動ポルノ」と向き合う』 <2022年7月「社会福祉」>

好井 裕明//著(岩波書店 2022.01)

場所：一般【369.2 /ヨシ】

“頑張る障害者に感動！・・・にモヤモヤする人へ” そんな紹介文が表紙に書かれたこの本は、障害者がこれまでの創作物の表現にどう描かれてきたかを、様々な例を挙げながらわかりやすい言葉で検証します。作品の受け手にとすると内在化された、差別的であったり一面的であったりする視点への気づきと、それを超えた理解へつながる、新たな視座をもたらしてくれます。

『子どもから話したくなる「かぞくかいぎ」の秘密』

<2022年4月「春」>

玉居子 泰子//著(白夜書房 2022.02)

場所：一般【379.9 /タマ】

春は始まりの季節。特に子どもたちにとっては、環境の変化や新たな経験をしていく刺激的な1年の始まりです。そんな中で、さまざまな問題に直面することがあります。でも、その問題に家族は気付いていますか。家族との会話が少ないかも...、子どもの対話力を引き出したい！という方におすすめの一冊。最初はうまくいかないのがあたりまえ、より良い日々を生きるために、家族会議始めてみませんか。

『私をあたらしくする51のこと』 <2022年12月「年末年始」>

本多 さおり//著(大和書房 2022.01)

場所：一般【590.4 /ホン】

家の中の家具や小物、ここにしか置けない...と固定観念を持っていませんか？

この本は、暮らしの中で新しい方法を探り、ちょっとだけ変えたり足したり引いたりする事で、家事が楽になる・気分が変わる...そんなヒントにあふれています。新しい年に少し新しい暮らし方、始めてみませんか。

『絵本のお菓子』 <2022年5月「子ども」>

太田 さちか//著(マイルスタッフ 2021.05)

場所：一般【596.6 /オオ】

子どもの頃に読んだ絵本を覚えていますか？この本では、長く読まれている絵本に登場するお菓子や、お話をイメージしたお菓子を紹介しています。レシピも掲載されているので、実際に作ることもできます。子どものころを思い返しながらかいたり、子どもと一緒に食べたり...。絵本を読んだ頃の思い出と一緒に楽しいひと時をすごしてみませんか。

『JELLY DESSERT』 <2022年8月「夏」>

太田 さちか//著(成美堂出版 2022.05)

場所：一般【596.6 /オオ】

今年は例年より早く夏がやってきました。暑い季節には、冷たいものが食べたくなりますよね。この本では、ゼラチン・アガー・寒天の3種類の凝固剤を使い、虹のようなゼリー、青空と綿雲のゼリー、花が咲いているかのようなゼリーなど、とても美しいゼリーが紹介されています。この夏、いつもと違うまるで宝石のようなゼリーを作ってみませんか。

『湘南ERが教える大切な人を守るための応急手当』

<2022年9月「防災」>

湘南ER//著(KADOKAWA 2022.07)

場所：一般【598.5 /シヨ】

ER医とは、ER(救急外来)の診療を専門とする医師で、軽傷患者から重症患者まで、すべての初期治療をおこなっています。

この本では、すり傷、打撲、熱中症、鼻血、腰痛、虫さされなどの本当に正しい、自宅で出来る応急手当の方法を教えてください。また、救急箱に入れておきたいものも紹介されています。思わぬ出来事で、すぐに病院へ行けない場合、参考になるかと思えます。

